

「見学」から「実践」へ。手技も思考も鍛えられた総合診療実習

実習先：市立伊勢総合病院（総合診療・家庭医療学）

「もっと手技がやりたい」「臨床推論をしっかり学びたい」。そんな自分の希望が 120% 叶えられた実習でした。

市立伊勢総合病院での 4 週間は、まさに実践の連続でした。

内科系の実習は初めてで不安もありましたが、ここでは学生を「お客様」扱いせず、医療チームの一員として扱ってくれます。

担当患者さんを受け持ち、毎日の回診、経過カルテの記載、そしてプレゼンテーションを行う日々。最初はプロブレムリストをどう作ればいいのか悩みましたが、先生方の指導のもと、患者さんの訴えを整理し、鑑別疾患を挙げるトレーニングを徹底的に行いました。ただ知識として知っているだけでなく、「使える知識」として定着していく感覚がありました。

救急外来や訪問診療への同行もあり、急性期から慢性期、生活背景まで考慮する総合診療の奥深さを学びました。Senior student として他学生へ指導する機会までいただき、教えることで自分の理解も深まりました。

環境面でも、駅から近くアクセスが良い点や、清潔感のある院内、美味しい食堂など、ストレスなく実習に集中できる条件が揃っています。

4 週間前の自分と比べて、確実にできることが増え、視野が広がったと感じます。初期研修医になる前に、ここで実習できて本当によかったです。ご指導ありがとうございました。